

2012年3月15日

中央線沿線価値向上プロモーション 2011 「中央線が好きだ。」ポスター第3弾ができました!!

～第3弾のテーマは「八王子花街と八王子芸者衆」～

JR東日本八王子支社では、中央線沿線のお勧めスポットを駅ポスターで紹介するなど、「中央線沿線価値向上プロモーション」を2007年度より展開し、2011年度はプロモーション5年目を迎えました。今年度も引き続き積極的に中央線沿線の魅力を発信しています。

今年度のテーマは昨年度に引き続き「中央線沿線の人と街とのつながり」です。中央線沿線に暮らす方、中央線沿線を利用される方が中心となって取り組んできた“街・コミュニティに貢献する”活動をポスター等を通じて発信しています。

この度、2011年度第3弾ポスターが完成しました。今回のポスターでは、八王子芸者衆のみなさんにご出演いただきました。

1. ポスター第3弾 テーマについて

(1) テーマ：「八王子花街と八王子芸者衆」

中央線沿線に暮らし、利用される方が“街をもっとよくしたい”その想いを実現した活動があります。甲州街道が通り、織物の街として発展した八王子は、芸者だけで数百人、料亭も30軒以上が軒を連ね、多摩地域最大の花街・黒塚の街として賑わいをみせていました。時代の流れと共に花街も徐々に衰退し、昭和60年代前半にはひと桁まで減った芸者の数ですが、ここ数年は若い世代の芸者衆が増え始めています。そして地元のお祭りに芸者が参加し、イベントを盛り上げるなど、地域の文化を継承しながら活性化に寄与しています。

今回は、八王子芸者衆の皆さんにご出演いただきました。

(2) ポスター出演者：八王子芸者衆の皆さん

「八王子芸者衆」とは

かつて数百人近い芸者が活躍していた八王子花街は一時、芸者の数がひと桁まで減ってしまい、存亡の危機に直面しました。しかしここ数年は若い世代の芸者衆が徐々に増え始め、現在は20～30代を中心に十数名が活動されています。そして八王子まつりをはじめとする地域の行事やイベントにも積極的に参加しています。

今回は、芸者衆として活躍される置屋「ゆき乃恵」のめぐみさんと菜乃佳さん、「恵美寿家」のあやめさん、「ゑん家」のまどかさんの4名にご出演いただきました。

2. ポスター第3弾 掲出について

- (1) 掲出開始日：2012年3月16日（金）以降
- (2) 掲出箇所：JR中央線 東京～高尾間の各駅（※中央線快速列車の停車駅）

3. 中央線沿線価値向上プロモーション その他の情報発信について

「中央線が好きだ。」ホームページでは、ポスターテーマと連動したコンテンツをご用意しています。過去のポスターの壁紙ダウンロード、ロケ地レポート、ポスター撮影の裏側の様子など楽しい情報を随時発信していますので、ぜひご覧ください。その他J・ADビジョン、トレインチャンネルにおいても過去に掲出したポスターを放映しています。

「中央線が好きだ。」ホームページ

URL：<http://www.jreast.co.jp/hachioji/ensen/>

（検索サイトにおいて「中央線が好きだ。」を入力してください。）

また、3月下旬より、「中央線世論調査」を実施いたします。これは、中央線が好きだ。ホームページ内の特設ページにて、中央線をご利用になるみなさまを中心に、中央線に関するアンケートにお答えいただき、みなさまから寄せられたご回答をホームページで発表する企画です。なお、アンケートにご回答いただいた方の中からトレインチャンネル番組にご出演していただく機会を設ける予定です。ぜひ、中央線が好きだ。ホームページをご覧ください。

※関連情報

駅から歩くウォークラリー「えきぼ」では、「歴史と商人のまち 八王子」コースの通過ポイントとして、今回ご紹介させていただいた八王子花街黒塀通りを取り上げています。詳しくはJR東日本八王子支社ホームページをご覧ください。

HP アドレス：<http://www.jreast.co.jp/hachioji/ekipo/>

～「中央線沿線価値向上プロモーション」とは～

中央線沿線は、どの街にも個性があり、豊かな自然など多くの魅力に溢れています。「中央線沿線価値向上プロモーション」は、たくさんのお客さまが、憩い、働き、学び、暮らしているこの沿線の魅力をさまざまな角度から情報発信すると同時に、新型車両の導入、魅力ある駅づくりなどの取り組みをわかりやすくお伝えします。

別紙

＜第3弾ポスター＞2012年3月16日(金)以降掲出



●ポスター出演者 : 八王子芸者衆の皆さん

◎ ポスター記載文章

芸への志は高く、お座敷の敷居は低く。
伝統の花街を、街の新しい社交場として甦らせたい。

【八王子黒塀通り・八王子芸者のみなさん】

明治から昭和にかけて、八王子が織物の街として栄えるとともに、商談や社交の場として賑わった黒塀通り。最盛期には芸妓衆 150 名を数える東京屈指の花街でしたが、近年は風前の灯に。そこで立ち上がったのが、芸者のめぐみさん。芸者を公募したり、学校の授業やライブハウスで芸を披露するなど、地域との絆を強める活動をしてきました。現在は地元有志の協力により、風情ある黒塀が一部復活。若い芸者さんも徐々に増え、粋な花街の賑わいは甦りつつあります。